

※ジャンボタニシ用薬剤一覧（抜粋版）

薬剤散布（必須事項）

《防除のポイント》

- ・ いずれも湛水状態で、ほ場の発生状況に応じて、ほ場全面に均一に散布、深水部分への局所的な散布、額縁散布など適切な散布を行う。
- ・ 散布後、確実な効果のため、少なくとも3～4に置換は湛水状態（水深3～5cm）を保ち、魚類、甲殻類等に影響が出ないように7日間は落水、かけ流しはしない。
- ・ 移植時のジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の被害がでる前に散布すると効果が高まる。

《特徴》

種類	商品名(例)	効果	剤の特性
メタルアル デヒド粒剤	スクミノン ジャンボたにしくん メタレックスRG粒剤	食害防止 殺貝	誘引性 殺貝効果が高い 効果持続性を高めた剤型あり 食毒による効果
磷 酸 第 二 鉄 粒 剤	スクミンベイト3 スクミンブルー	殺貝	誘引性 有機JIS規格に適合 使用時期・回数に制限なし 水に溶けにくい（多雨でも効果が見込める） 食毒による効果
チオシクラム 粒剤	スクミハンター	食害防止	徐放性による効果持続

※農林水産省「スクミリンゴガイ防除対策マニュアル（移植水稻）より一部抜粋